

トキ生息環境整備地域活動事業支援状況(令和3年度)

資料4

整理番号	継続年数	団体名	職名	代表者名	団体所在地	構成員数	活動期間	活動目標	主な活動場所	活動内容・経費	助成の可否	実績事業費	助成対象経費	助成確定額	
1	5年	トキ生息環境馬場保全会	会長	木林 吉春	佐渡市大和	19	R3.4 ～ R4.3	平成24年4月に自然界で初めて馬場集落にトキが誕生し、その後も毎年巣作りをしてこの地を生息の場として選り住人と共生していることに思いを寄せ、今後もトキが安全で安心して生息していけるよう自然環境の保護と整備を推進する。	大和馬場	○生息環境整備 ○水生生物調査・学習 ○トキに関する研修の実施	可	299,154	264,712	250,000	
2	5年	トキと暮らす里山	会長	渡辺 治	佐渡市新穂潟上	6	R3.4 ～ R4.3	会員が生活を営む敷地内、田んぼ、森林に多くのトキが生息しており、トキの餌場・ねぐらの造成・維持管理を行いながら、トキと暮らす里山づくりを目指す。	新穂潟上	○放棄田でのビオトープ造成、草地管理 ○森林整備 ○営農田及び水路の維持管理	可	310,000	250,000	250,000	
3	4年	朱鷺の棲む山田会	会長	佐藤 辰夫	佐渡市加茂歌代	8	R3.4 ～ R4.3	活動地区の水田や周辺林地にトキが通年生息するようになった。トキの餌場や巣材採集地、営巣地となる林地の維持管理を通して、生息環境の整備・保全を目指す。	佐渡市加茂歌代	○ビオトープの造成・維持管理	可	174,000	150,000	150,000	
4	5年	潟上水辺の会	代表	板垣 徹	佐渡市新穂潟上	47	R3.6 ～ R3.11	トキが多数定着している新穂潟上地区において、これまでに整備されてきたビオトープの維持管理にとどまらず、地域に散在している耕作放棄状態の水田等をビオトープとして面的に整備し、その継続的な維持管理体制を構築したい。 機械使用で作業効率を高めるとともに作業日当をきちんと支払う仕組みとして平成29年度に組織した「ビオトープ整備隊」により、今年もビオトープの整備・維持管理活動を行う。 さらに、この取り組みを定着させることにより、現在進行中の天王川中流域自然再生事業と連携して、この地域一帯としての餌場環境整備を図る。	新穂潟上、田野沢、正明寺	○既存ビオトープの維持・管理	可	545,940	241,380	241,380	
5	2年	NPO法人日本アムニティ研究所	理事長	加治 隆	埼玉県さいたま市	25	R3.9 ～ R4.2	剥製トキの展示、利用実態を調査し、剥製トキの展示がトキの生態や保護の理解を深める役割、効果について研究する。	—	○報告書の作成、送付 ○アンケートの実施	可	255,250	255,250	250,000	
合計													1,584,344	1,161,342	1,141,380

※振込手数料を含まない